

1 ビジョン策定の経緯

- (1) 新たなビジョンの策定にあたっては、石川県森林審議会に設置した森林・林業基本問題検討部会、及び、検討部会のもとに設けた作業部会において検討を重ねた。

○石川県森林審議会森林・林業基本問題検討部会運営要領

(趣 旨)

第1条 この要領は森林法（昭和26年法律第249号）第68条の規定に基づいて設置した石川県森林審議会（以下「審議会」という。）の部会として森林法施行令（昭和26年政令第276号）第7条の規定に基づき設置した森林・林業基本問題検討部会（以下「部会」という。）の運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 部会は審議会が受けた知事の諮問事項のほか森林・林業・木材産業等にかかる基本的な問題の検討に関する事項を所掌する。

(組 織)

第3条 部会は、委員（以下「部会委員」という。）7人以内で組織する。

2 部会委員は、審議会の委員のうちから会長が指名する者及び必要に応じ会長が指名する有識者とする。

3 部会は必要に応じて、その所掌事務に関する事項を調査するため、作業部会を置くことができる。

4 作業部会は、委員（以下「作業部会委員」という。）10人以内で組織する。

5 作業部会委員は、部会長が指名する有識者とする。

(部会長)

第4条 部会に部会長を置き、会長が指名する部会委員をもって充てる。

2 部会長は部会の会務を総理し、部会を代表する。

3 部会長に事故があるときは、部会委員の互選により選出された者がその職務を代理する。

(会 議)

第5条 会議は必要に応じ部会長が招集し、その会議の議長となる。

2 会議は、部会委員の半数以上が出席しなければ、開催することができない。

3 会議の議事は出席部会委員の過半数で決し、可否同数のときは議長が決する。



(作業部会)

第6条 作業部会に作業部会長を置き、部会長が指名する作業部会委員をもって充てる。

- 2 第4条の2及び3並びに前条の規定は、作業部会長及び作業部会について準用する。
この場合において、「部会長」とあるのは「作業部会長」と、「部会」とあるのは「作業部会」と、「部会委員」とあるのは「作業部会委員」と読み替えるものとする。

(庶務)

第7条 部会及び作業部会の庶務は、農林水産部森林管理課において行う。

(附則)

この要領は、平成21年12月16日から施行する。

この要領は、令和元年11月21日から施行する。

(2) 新たなビジョン策定に係る検討状況

○森林・林業基本問題検討作業部会の開催状況

第1回（令和2年7月2日）

森林・林業・木材産業の現状と課題について

第2回（令和2年8月7日）

現行ビジョンの評価と今後の施策の方向性について

第3回（令和2年10月23日）

・新ビジョンで目指す姿

・新ビジョンの達成に向けた指標と取り組むべき施策について

第4回（令和2年11月27日）

新ビジョンの骨子案について

○森林・林業基本問題検討部会の開催状況

第1回（令和3年2月1日）

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021」の素案について

パブリックコメントの実施（令和3年2月19日～令和3年3月19日）

第2回（令和3年3月25日）

・パブリックコメントの結果概要について

・「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021」の最終取りまとめ案について

○森林審議会（令和3年3月25日）

「いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021」（案）の諮問について

(3) 委員名簿

【森林・林業基本問題検討部会委員一覧】

氏名	役職等	備考
太田 文夫	石川県木材産業振興協会副理事長	
門村 和永	石川県森林組合連合会代表理事会長	
坂本 ちづる	石川県林業研究グループ連絡協議会相談役理事	
田尻 純江	石川県建築士会副会長	
中島 正彦	石川森林管理署長	検討部会長

5名

【森林・林業基本問題検討作業部会委員一覧】

氏名	役職等	備考
岡部 亮二	石川県森林組合連合会参事	
梶谷 祥寛	(株)梶谷建設営業部	
坂井 亨	石川県森林組合連合会森林整備課長	
高野 清人	林ベニヤ産業(株)管理課長	
竹田 廣	金沢木材協同組合専務理事	
谷口 恒英	(株)シモアラ製材部長	
柳井 清治	石川県立大学教授	作業部会長
山岸 祐一	(株)山岸林業代表取締役社長	
吉村 兆	(株)中野取締役兼木材事業部長	

9名



2 関係数値、図表

森林資源

(1) 人工林、天然林別面積・蓄積

① 国有林 (R1)

(単位:面積・ha、蓄積・千m3)

区分	総数		人工林		天然林		人・天小計		その他(面積)		人工林率 (%)	
	面積	蓄積	面積	蓄積	面積	蓄積	面積	蓄積	竹林	無立木地		
全国	7,580,365	1,184,307	2,199,753	478,927	4,689,604	704,850	6,889,357	1,183,778	119	690,889	29	
石川県	33,947	2,460	2,033	318	23,373	2,143	25,406	2,460	0	8,541	6	
加賀	33,906	2,454	1,993	311	23,373	2,143	25,366	2,454	0	8,540	6	
能登	41	7	41	7	0	0	41	7	0	1	98	
比率	県	100	100	6	13	69	87	75	100	0	25	-
	加賀	100	100	6	13	69	87	75	100	0	25	-
	能登	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-

注1) 本表は、森林法第2条第1項に規定する森林の数値である。

資料: 令和元年国有林野事業統計書、国有林の地域別の森林計画書

2) 県内の森林面積については、上記のほかにも他所管の国有地がある。

② 民有林 (R1)

(単位:面積・ha 蓄積・千m3)

区分	総数		人工林		天然林		人・天小計		その他(面積)		人工林率 (%)	
	面積	蓄積	面積	蓄積	面積	蓄積	面積	蓄積	竹林	無立木地		
全国	17,389,471	4,015,575	7,915,724	2,795,379	8,747,209	1,220,005	16,662,933	4,015,384	166,547	559,991	46	
石川県	251,475	70,619	99,763	47,930	140,575	22,690	240,338	70,619	2,094	9,043	40	
加賀	107,929	19,772	27,511	10,657	74,583	9,116	102,094	19,772	843	4,993	25	
能登	143,545	50,847	72,251	37,273	65,993	13,574	138,244	50,847	1,252	4,050	50	
比率	県	100	100	40	68	55	32	95	99	1	4	-
	加賀	43	28	11	15	29	13	40	28	0	2	-
	能登	57	72	29	53	26	19	55	71	1	2	-

注1) 全国の数値は、平成29年3月31日現在の数値である。

資料: 森林資源の現況、石川県森林・林業要覧

(2) 齢級別森林面積・蓄積

① 国有林 (R1)

(単位:ha)

齢級	面積															計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15以上	
総数	5	36	76	10	46	27	108	289	502	907	1,055	857	906	992	19,591	25,406
人工林	5	14	21	10	10	7	18	54	119	264	202	329	184	67	728	2,033
天然林	0	22	55	0	35	20	91	235	383	642	853	528	722	925	18,862	23,373
比率	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	4	3	4	4	77	99
人工林%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	3	7
天然林%	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	3	2	3	4	74	92

○ 蓄積

(単位:千m3)

齢級	蓄積															計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15以上	
総数	0	0	1	0	2	2	6	20	45	98	132	110	98	103	1,844	2,461
人工林	0	0	1	0	1	1	2	7	20	50	42	60	29	14	90	317
天然林	0	0	0	0	1	1	4	13	25	48	90	50	69	89	1,754	2,144
比率	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	6	4	4	5	75	101
人工林%	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	1	1	4	13
天然林%	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	4	2	3	4	71	88

資料: 令和3年3月31日時点で有効な国有林の地域別の森林計画書

② 民有林 (R1)

(単位:ha)

齢級	面積															計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15以上	
総数	233	344	597	1,230	2,421	4,438	5,650	8,442	8,649	9,631	14,205	25,889	26,341	41,141	90,833	240,338
人工林	86	94	423	1,165	2,313	3,837	5,584	8,299	8,452	8,885	11,472	14,140	9,449	7,720	17,573	99,763
天然林	147	250	174	65	108	600	66	143	197	746	2,733	11,750	16,891	33,421	73,260	140,575
比率	0	0	0	1	1	2	2	4	4	4	6	11	11	17	38	100
人工林%	0	0	0	0	1	2	2	3	4	4	5	6	4	3	7	42
天然林%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	7	14	30	58

○ 蓄積

(単位:千m3)

齢級	蓄積															計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15以上	
総数	0	4	15	71	290	774	1,533	2,972	3,535	4,243	5,994	9,216	7,851	9,835	24,286	70,619
人工林	0	1	11	67	282	723	1,527	2,958	3,512	4,148	5,616	7,454	5,373	4,744	11,513	47,930
天然林	0	3	4	4	8	51	6	14	23	95	377	1,762	2,478	5,092	12,773	22,690
比率	0	0	0	0	0	1	2	4	5	6	8	13	11	14	34	100
人工林%	0	0	0	0	0	1	2	4	5	6	8	11	8	7	16	68
天然林%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	7	18	32

資料: 森林管理課調べ

(3) 民有林の面積や蓄積の推移

区 分		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
総数	面積(ha)	251,686	251,679	251,662	251,679	251,628	251,454	251,442	251,426	251,466	251,475
	蓄積(千m3)	61,787	62,916	63,974	62,916	66,026	66,889	67,940	68,806	69,757	70,619
	H12を100%とした比率	102%	103%	105%	103%	109%	110%	112%	113%	115%	116%
	年間成長量(千m3)	1,102	1,094	1,087	1,094	1,074	1,061	1,050	1,435	1,428	1,599
人工林	面積(ha)	99,493	99,492	99,490	99,492	99,460	99,454	99,438	99,415	99,412	99,763
	蓄積(千m3)	40,087	41,009	41,919	41,009	43,704	44,567	45,435	46,202	47,048	47,930
	年間成長量(千m3)	938	933	928	933	920	910	901	1,131	1,125	1,215
天然林	面積(ha)	141,324	141,331	141,322	141,331	141,322	141,160	141,155	141,143	141,119	140,575
	蓄積(千m3)	21,699	21,907	22,055	21,907	22,322	22,322	22,506	22,604	22,709	22,690
	年間成長量(千m3)	164	162	159	162	154	151	149	304	303	384

資料：石川県森林・林業要覧



森林の保全

(1) 保安林面積(国有林を含む)

(単位:千ha)

区分	水源かん養	土砂流出防備	土砂崩壊防備	飛砂防備	防風	干害防備	なだれ防止	魚つき	保健		その他	合計	
										(兼種)			(兼種)
S50	55.7	4.6	0.0	1.3	0.7	0.1	0.7	0.1	0.1	(0.5)	0.2	63.5	(0.5)
S55	57.0	5.6	0.1	1.2	0.7	0.1	0.8	0.1	0.3	(2.3)	0.2	66.1	(2.3)
S60	59.0	6.8	0.1	1.2	0.7	0.1	0.7	0.1	2.8	(15.2)	0.2	71.7	(15.2)
H2	61.7	6.8	0.1	1.2	0.7	0.1	0.7	0.1	2.7	(15.6)	0.2	74.3	(15.6)
H7	63.6	7.3	0.1	1.2	0.7	0.1	0.7	0.1	2.8	(16.4)	0.2	76.8	(16.4)
H12	64.8	7.6	0.2	1.2	0.7	0.1	0.7	0.1	2.8	(16.5)	0.2	78.4	(16.5)
H17	68.7	7.9	0.2	1.2	0.7	0.1	0.7	0.1	2.8	(17.5)	0.2	82.6	(17.5)
H22	70.0	8.1	0.2	1.2	0.7	0.1	0.7	0.1	2.8	(17.5)	0.2	84.1	(17.5)
H27	70.6	8.2	0.2	1.2	0.7	0.1	0.7	0.1	2.8	(17.5)	0.2	84.8	(17.5)
H28	70.6	8.2	0.2	1.2	0.7	0.1	0.7	0.1	2.8	(17.5)	0.2	84.8	(17.5)
H29	70.6	8.2	0.2	1.2	0.7	0.1	0.7	0.1	2.8	(17.5)	0.2	84.8	(17.5)
H30	70.7	8.2	0.2	1.2	0.7	0.1	0.7	0.1	2.8	(17.5)	0.2	84.9	(17.5)
R1	70.7	8.3	0.2	1.2	0.7	0.1	0.7	0.1	2.8	(17.5)	0.2	85.0	(17.5)

注) ()書きは、他の保安林との兼種のもの

資料: 森林管理課調べ

(2) 山地災害危険地区

(単位:箇所、%)

区分	令和元年度末現在					
	概成	一部概成	未成	未着手	計	進捗率
山腹崩壊	81	328	76	559	1,044	46.5
崩壊土砂流出	96	514	38	584	1,232	52.6
地すべり	10	164	34	196	404	51.5
なだれ	40	46	6	142	234	39.3
計	227	1,052	154	1,481	2,914	49.2

注)「概成」とは、計画した一連の工事が完成した場合をいい、「一部概成」とは計画した一連の工事のうち一部の箇所に対する工事のみが完了した場合をいう。また、「未成」とは計画した工事が完了していない場合をいう。

資料: 森林管理課調べ

(3) 治山関係災害状況 (H22~R1)

(単位:千円、箇所)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
被害額	530,200	485,058	185,677	631,500	38,800	59,400	0	408,482	188,727	10,000
箇所数	8	12	6	28	15	1	0	17	27	2

資料: 森林管理課調べ

(4) 林地開発新規許可件数 (H22~R1)

(単位:件)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
計	1	2	4	1	9	9	13	10	6	2

資料: 石川県森林・林業要覧

(5) 林野火災被害状況の推移 (H22～R1)

年度	件数	被害面積	被害材積
		ha	m ³
H22	6	1.1	3
H23	22	4.7	112
H24	11	1.2	30
H25	13	1.3	63
H26	18	1.3	145
H27	9	1.0	353
H28	8	0.3	104
H29	2	0.2	25
H30	6	0.2	98
R1	1	0.0	17
計	96	11.3	950

資料:石川県森林・林業要覧

(6) 松くい虫被害の推移 (H22～R1)

(単位:千m³)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
石川県	2	2	3	7	7	6	5	4	4	4
全国	582	645	643	627	561	481	440	399	352	302

資料:森林管理課調べ

(7) カシノナガキクイムシ被害の推移 (H22～R1)

(単位:a、m³)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
石川県	面積	29,800	3,400	1,300	293	38	3	2	0	6	4
	材積	14,900	2,300	700	261	31	3	1	0	3	2
全国	面積	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	材積	325,100	156,700	83,300	52,200	41,000	82,800	83,600	93,100	44,700	60,500

資料:森林管理課調べ

(8) クマ剥ぎ被害の推移 (H22～R1)

(単位:ha、本)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
面積	1.0	18.0	5.0	1.0	9.7	0.40	1.70	2.00	0.50	0.01
本数	210	3,100	588	752	6,815	328	1,253	1,405	367	10

資料:森林管理課調べ

(9) ニホンジカ被害の推移 (H22～R1)

(単位:ha)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
石川県	0	0	0	0.04	0.01	0.02	0.06	0.02	0.02	0.04
全国	3,980	5,711	6,514	6,789	7,077	5,982	5,556	4,711	4,249	3,469

資料:森林管理課調べ

(10) 森づくりを行う団体数の推移 (H22～R1)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
団体数(のべ)	76	91	112	126	132	139	154	165	178	188
企業の森協定締結数(のべ)	22	30	37	40	43	44	49	57	61	64

資料:森林管理課調べ



森林の整備

(1) 年度別造林面積(民有林)

(単位:ha)

区分	人工造林			復旧造林	複層林	育成天然林	合計
	再造林	拡大造林	計		(樹下植栽)	(改良)	
S50	164	1,819	1,983	97	0	0	2,080
S55	121	1,946	2,067	52	0	0	2,119
S60	88	1,356	1,444	191	0	26	1,661
H2	54	785	839	20	316	82	1,257
H7	238	335	573	37	201	4	815
H12	65	226	291	29	207	0	527
H17	90	85	175	0	136	0	311
H22	24	37	62	0	9	0	70
H27	20	18	38	0	83	0	121
H28	8	2	10	0	48	0	58
H29	16	6	22	0	50	0	72
H30	26	8	34	0	43	0	77
R1	20	17	37	0	69	0	106

資料:石川県森林・林業要覧

(2) 年度別・樹種別造林面積(民有林)

(単位:ha)

区分	スギ	アテ	ヒノキ	アカマツ	クロマツ	その他針葉樹	広葉樹	合計
S50	1,493	364	84	96	24	3	16	2,080
S55	1,580	233	221	44	24	1	16	2,119
S60	1,224	111	231	3	12	2	78	1,661
H2	609	349	177	48	6	0	68	1,257
H7	383	239	152	20		0	21	815
H12	132	231	109	7		0	48	527
H17	58	139	58	9		0	47	311
H22	20	6	13	7		0	24	70
H27	20	4	6	4		0	86	121
H28	7	2	1	6		0	42	58
H29	13	1	1	8		0	48	71
H30	12	3	1	8		0	53	77
R1	20	2	0	11		0	74	106

資料:石川県森林・林業要覧

(3) 年度別・事業別造林面積(民有林)

(単位:ha)

区分	補助事業	県営林	公団	治山事業	自力	合計
S50	1,568	252	135	51	74	2,080
S55	1,555	255	168	62	79	2,119
S60	1,149	277	64	131	40	1,661
H2	1,011	37	80	75	54	1,257
H7	612	2	73	91	37	815
H12	356	2	82	43	44	527
H17	165	0	59	70	17	311
H22	12	0	28	20	11	70
H27	83	6	17	5	10	121
H28	18	2	1	31	6	58
H29	54	0	5	9	4	72
H30	55	0	9	8	5	77
R1	79	0	16	6	5	106

資料:石川県森林・林業要覧

(4) 山元立木価格

(単位:円/m³、千円/ha)

区分	単位	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
山元立木価格	スギ	円/m ³	23,289	18,171	15,908	12,800	8,964	3,650	2,683	2,800	2,622	2,447	2,618	2,517	2,291	2,308	2,356
	ヒノキ	円/m ³	42,700	32,536	30,341	26,000	20,967	14,414	8,098	8,229	6,600	6,299	7,100	5,929	5,563	5,563	5,717
	マツ	円/m ³	12,050	9,250	7,844	6,167	4,650	2,243	1,732	1,786	1,750	1,599	1,763	1,538	1,600	1,463	1,450

- 注1) 山元立木価格は、(財)日本不動産研究所「山元立木価格調」による。
 2) 造林経費の算出は、スギ拡大造林の2,500本/ha植栽の標準単価による。

(5) 林業算出額(木材生産)の推移

(単位:千万円)

区分	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
木材生産	479	372	400	311	191	143	153	149	140	150	143	119	153	154	136

資料:石川農林水産統計年報

(6) 間伐の実施状況

区分	単位	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
間伐面積	ha	5,016	5,054	3,192	2,766	2,253	2,087	2,271	1,830	1,763	1,726
間伐材積	m ³	57,171	63,298	78,294	79,265	81,360	86,723	92,493	79,671	65,103	90,026

資料:森林管理課調べ



林業経営体

(1) 林業経営体数

(単位:経営体)

H17	H22	H27
H17.2.1	H22.2.1	H27.2.1
3,621	2,354	1,300

資料:農林業センサス

*林業経営体とは、保有する山林で3%以上の規模の林業を行う者、受託もしくは立木を購入して素材生産等を行う者とする。

(2) 事業体における林業従事者数

(単位:人)

区分	総人数	男性	女性	年齢階層別			40歳未満 比率
				40歳未満	40~59歳	60歳以上	
H22	451	411	40	136	147	168	30%
H23	443	411	32	137	155	151	31%
H24	471	444	27	148	173	150	31%
H25	475	457	18	145	180	150	31%
H26	483	467	16	142	191	150	29%
H27	486	468	18	133	202	151	27%
H28	482	465	17	122	199	161	25%
H29	481	471	10	116	201	164	24%
H30	482	471	11	108	208	166	22%
R1	482	470	12	100	213	169	21%

注) 森林組合系統と森林整備協同組合傘下の作業員数

資料:森林管理課調べ

(3) 林業作業士等の研修修了者の推移

(単位:人)

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
FW(フォレストワーカー)1年目	10	7	6	9	9	9	4	6	6
FW(フォレストワーカー)2年目	20	15	6	7	8	8	9	4	4
FW(フォレストワーカー)3年目	2	18	13	5	7	5	9	8	3
FL(フォレストリーダー)	5	2	0	1	3	1	3	3	1
FM(フォレストマネージャー)	0	2	0	0	1	2	0	0	0

資料:緑の雇用(RINGYOU.NET)

(4) 業種別死傷年千人率(休業4日以上)の推移

区 分	林 業	製造業	鉱 業	建設業	運輸業		全産業平均
					計	陸上貨物運送	
H22	28.6	2.6	13.9	4.9			2.1
H23	27.7	2.7	13.9	5.2			2.1
H24	31.6	3.0	9.9	5.0	6.3	8.4	2.3
H25	28.7	2.8	12.0	5.0	6.3	8.3	2.3
H26	26.9	2.9	8.1	5.0	6.4	8.4	2.3
H27	27.0	2.8	7.0	4.6	6.3	8.2	2.2
H28	31.2	2.7	9.2	4.5	6.3	8.2	2.2
H29	32.9	2.7	7.0	4.5	6.5	8.4	2.2
H30	22.4	2.8	10.7	4.5	6.8	8.9	2.3
R1	20.8	2.7	10.2	4.5	6.5	8.5	2.2

資料:厚生労働省「職場のあんぜんサイト」労働災害統計
注) 年千人率とは労働者1,000人あたり1年間に発生する死傷者数を示すもので、次式で表される。

$$\text{年千人率} = \frac{\text{1年間の死傷者数}}{\text{1年間の平均労働者数}} \times 1,000$$

(5) 森林組合の数、森林組合員数、払い込み出資額の推移

(単位:組合、千円)

区 分	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0
森 林 組 合 数	4	4	4	4	4	4	4	4	4
同 組 合 員 数	27,051	26,947	26,873	26,803	26,632	26,555	26,357	26,261	26,163
払 い 込 み 出 資 額	1,366,915	1,359,236	1,353,692	1,348,761	1,362,648	1,370,673	1,381,130	1,379,516	1,375,645

資料:森林組合統計書



林業の基盤整備

(1) 高性能林業機械の導入台数

(単位:台)

区分	プロセッサ	ハーベスト	タワーヤード	スイングヤード	クラップルソー	フォワーダ	スキッド	フェラバンチャ	計
H22	7	5	1	10	8	12	13		56
H23	8	6	1	10	9	14	10		58
H24	8	6	1	10	15	16	10		66
H25	7	8	1	10	18	18	10		72
H26	6	8	1	9	22	21	10		77
H27	6	11	1	9	23	23	10	2	85
H28	6	13	1	6	22	22	7	4	81
H29	6	14	1	7	23	23	7	4	85
H30	6	14	1	8	24	22	7	4	86

資料: 森林管理課調べ

(2) 林内路網の整備状況

(単位:km)

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
林道・林専道 整備延長	4	25	44	85	97	110	113	122	129	131
森林作業道 整備延長	176	338	441	670	886	1,043	1,047	1,237	1,383	1,556

(注) 整備延長は、開設年度末の現況延長を累計した延長であり、開設延長を累計した延長と一致しない場合がある。

資料: 森林管理課調べ

木材産業

(1) 木材の需要量及び供給量

(単位:千m³)

年次	需 要 量					供 給 量						県産材 自給率 (%)
	計	製材用	パルプ用	合板用	その他用	計	県 産 材				外材 小計	
							生産量	移出量	移入量	小計		
S50	742	662	-	63	17	742	174	40	2	136	606	18
S55	809	650	-	134	25	809	180	48	2	134	675	17
S60	629	483	-	130	16	629	163	61	2	104	525	17
H 2	735	491	-	195	49	735	174	43	1	132	603	18
H 7	673	428	-	210	35	673	150	19	0	131	542	19
H12	534	329	-	181	24	534	117	15	0	102	432	19
H17	403	180	/	x	x	403	105	9	6	102	301	24
H22	301	78	/	x	x	301	130	33	110	207	94	32
H23	364	78	/	x	x	364	137	35	152	254	110	28
H24	329	74	/	x	x	329	124	25	174	273	56	30
H25	358	70	/	x	x	358	124	25	161	260	98	28
H26	362	79	/	x	x	362	128	24	184	288	74	29
H27	361	66	/	x	x	361	130	26	189	293	68	29
H28	364	59	/	x	x	364	146	23	167	291	73	34
H29	382	57	/	x	x	382	153	30	186	311	71	32
H30	400	58	/	x	x	400	146	20	206	332	68	32

資料：石川県における木材需給と製材工業の動向
注) 平成13年より「パルプ用」は調査廃止となる。

(2) 樹種別原木生産量

(単位:千m³)

年度	計	針 葉 樹						広 葉 樹		
		小計	スギ	ヒノキ	マツ	能登ヒバ	その他	小計	ブナ	その他
S50	174	140	80	2	34	22	2	34	4	30
S55	180	144	80	11	35	18	0	36	6	30
S60	163	119	64	3	30	21	1	44	2	42
H 2	174	124	62	4	33	25	0	50	0	50
H 7	150	123	77	2	11	32	1	27	0	27
H12	117	96	65	4	5	22	0	21	0	21
H17	105	87	64	2	6	15	0	18	/	18
H22	130	111	95	1	3	-	12	19	/	19
H23	137	122	108	1	3	-	10	15	/	/
H24	124	112	97	1	3	-	11	12	/	/
H25	124	108	91	2	4	-	11	16	/	/
H26	128	113	97	1	6	-	9	15	/	/
H27	130	114	97	1	5	-	10	16	/	/
H28	146	131	107	2	10	-	10	16	/	/
H29	153	135	104	10	11	-	8	18	/	/
H30	146	121	106	1	6	-	8	25	/	/

資料：石川県における木材需給と製材工業の動向
注) 平成15年より広葉樹「ブナ」は調査廃止となる。
注) 平成23年より広葉樹の内訳は調査廃止となる。



(3) 素材及び製材品価格(1m3当たり)

(単位:円/m3)

区分	素 材 価 格			製 材 品 価 格			
	スギ 18cm上 × 4.0m	能登ヒバ 14cm上 × 4.0m	米マツ 30cm上 × 6.0m	スギ 10.5×10.5cm × 3.0m	能登ヒバ 12.0×12.0cm × 3.0m	米マツ 12.0×18.0cm × 4.0m	
S50	29,600	38,600	27,000	73,200	86,000	—	
S55	45,000	41,100	32,200	83,800	104,100	63,800	
S60	28,200	28,200	26,000	58,000	87,100	60,200	
H 2	25,300	32,900	25,400	71,300	112,000	58,200	
H 7	21,900	30,300	28,600	62,200	77,100	63,400	
H 8	21,300	40,700	31,900	63,200	78,100	70,400	
H12	16,500	34,000	34,300	54,100	95,500	60,900	
H17	11,400	16,700	25,500	47,000	89,600	57,900	
H18	13,400	21,400	27,300	48,500	94,000	63,800	
H19	13,600	27,900	28,500	(グリーン材) 38,000	(乾燥材) 64,500	96,600	67,400
H20	12,300	23,900	29,300	38,000	65,000	98,600	67,600
H21	9,900	16,200	25,700	37,200	63,000	98,600	67,900
H22	11,900	14,200	24,300	37,500	61,700	98,600	68,600
H23	11,800	17,800	24,600	40,000	63,600	92,800	69,800
H24	10,400	14,900	25,100	40,500	61,500	92,800	68,600
H25	10,900	18,400	27,700	48,000	65,900	111,000	73,500
H26	11,700	20,700	30,600	55,000	72,400	117,900	78,100
H27	10,900	16,900	30,200	49,500	67,900	110,400	76,100
H28	10,600	17,700	29,500	49,100	65,700	109,500	74,900
H29	11,600	19,000	30,300	48,900	66,000	108,300	76,000
H30	11,500	16,900	33,000	48,700	72,800	110,900	84,600

資料：石川県における木材需給と製材工業の動向
注) スギ製材品は、H19よりグリーン材と乾燥材に区分して調査を実施。

(4) 原木市場の年次別取扱量の推移

(単位:m³)

区分	(株)七尾 木材市場	県森連		(協)能登木材総 合センター	合計
		金沢共販所	かが森組		
住所	七尾市 矢田新町	金沢市 湊	小松市 那谷町	穴水町 麦ヶ浦	
市場面積(m ²)	8,524	16,528	11,754	33,000	69,806
S50	7,436	9,652	—	—	17,088
S55	9,027	15,494	—	—	24,521
S60	6,692	9,928	—	—	16,620
H2	6,775	10,779	—	—	17,554
H7	8,335	14,591	—	27,432	50,358
H12	9,115	15,528	—	24,723	49,366
H17	6,630	13,075	6,245	28,069	54,019
H18	5,279	11,929	6,630	31,577	55,415
H19	6,448	14,504	7,472	35,836	64,260
H20	5,037	10,754	8,835	38,012	62,638
H21	5,793	9,472	6,994	27,773	50,032
H22	4,472	7,395	6,701	24,263	42,831
H23	5,205	6,169	7,239	24,399	43,012
H24	3,781	6,609	5,769	26,149	42,308
H25	3,692	5,472	4,168	25,847	39,179
H26	3,833	5,944	3,635	28,788	42,200
H27	2,300	5,620	2,850	24,397	35,167
H28	4,368	5,306	3,901	20,583	34,158
H29	3,847	5,125	3,939	24,590	37,501
H30	3,725	4,678	3,583	24,418	36,404

資料：石川県における木材需給と製材工業の動向



(5) 新設住宅着工戸数、床面積

(単位: 戸・千m²・%)

区分	全 国						石 川 県					
	戸数			床面積			戸数			床面積		
	うち木造			うち木造			うち木造			うち木造		
	戸数	木造率		床面積	木造率		戸数	木造率		床面積	木造率	
H 2	1,707,109	727,765	43	137,490	72,440	53	14,502	7,885	54	1,257	862	69
H 7	1,470,330	666,124	45	136,524	73,803	54	12,707	8,030	63	1,324	962	73
H12	1,229,843	555,814	45	119,879	64,531	54	10,297	6,205	60	1,128	817	72
H17	1,236,175	542,848	44	106,593	56,494	53	8,909	6,219	70	892	681	76
H18	1,290,391	559,201	43	108,815	57,770	53	9,319	6,008	64	959	692	72
H19	1,060,741	504,546	48	90,651	51,383	57	8,850	5,878	66	849	637	75
H20	1,093,519	516,875	47	90,768	51,448	57	8,331	5,866	70	812	629	77
H21	788,410	430,121	55	68,324	43,591	64	6,237	4,648	75	630	524	83
H22	813,126	460,134	57	72,910	47,278	65	6,484	4,982	77	677	572	84
H23	834,117	464,837	56	75,354	47,844	63	6,927	4,965	72	683	565	83
H24	882,797	486,756	55	78,413	49,492	63	6,164	4,978	81	661	574	87
H25	987,254	551,152	56	87,313	56,283	64	7,421	5,694	77	801	669	84
H26	892,261	489,463	55	75,681	48,068	64	6,455	4,931	76	662	546	82
H27	909,299	504,318	55	75,059	48,279	64	7,286	5,765	79	741	628	85
H28	967,237	546,336	56	78,183	50,992	65	7,524	5,693	76	733	613	84
H29	964,641	545,366	57	77,515	50,346	65	7,840	5,740	73	748	615	82
H30	942,370	539,394	57	75,309	50,144	67	7,609	5,692	75	731	624	85

資料：石川県における木材需給と製材工業の動向
国土交通省「住宅着工統計」

(6) 製材工場にかかる諸元

(単位:工場・人・千m³)

年次	製材 工場数	従業員数		素材入荷量		素材消費量	
		従業員 計 (人)	1工場 当たり (人)	消費量 計 (千m ³)	1工場 当たり (m ³)	消費量 計 (千m ³)	1工場当たり 当たり (m ³)
S50	393	2,948	7.5	662	1,684	655	1,667
S55	361	2,537	7.0	650	1,801	632	1,751
S60	296	1,678	5.7	483	1,632	475	1,605
H 2	263	1,486	5.7	524	1,992	491	1,867
H 7	240	1,313	5.5	428	1,783	418	1,742
H12	194	978	5.0	534	2,753	315	1,624
H17	159	617	3.9	180	1,132	177	1,113
H18	156	587	3.8	144	923	142	910
H19	147	512	3.5	131	891	130	884
H20	133	395	3.0	109	820	107	805
H21	113	334	3.0	84	743	86	761
H22	106	314	3.0	78	736	77	726
H23	98	282	2.9	78	796	74	755
H24	97	279	2.9	74	763	74	763
H25	86	258	3.0	70	814	67	779
H26	82	259	3.2	79	963	77	939
H27	80	230	2.9	66	825	64	800
H28	76	228	3.0	59	776	60	789
H29	74	-	-	57	770	60	811
H30	72	-	-	58	806	57	792

資料：石川県における木材需給と製材工業の動向
注) 平成29年より従業者数の把握は廃止となる。



(7) 製材品の用途別出荷量の推移

(単位:千m³)

年次	合計	建築用材				土木建設用材	木箱梱包用材	家具建材用材	その他
		計	板類	挽割類	挽角類				
S50	460	408	75	147	186	11	15	17	9
S55	457	406	75	158	173	17	15	15	4
S60	325	293	53	133	107	11	9	10	2
H2	339	313	43	139	131	14	5	6	1
H7	275	253	27	112	114	14	5	2	1
H12	216	192	21	76	95	15	5	2	2
H17	113	100	16	52	32	9	2	1	1
H18	91	85	17	42	26	4	2	0	0
H19	81	76	13	34	29	2	3	0	0
H20	66	63	11	28	24	1	1	1	0
H21	54	51	9	23	19	2	1	0	0
H22	48	45	8	23	14	2	1	0	0
H23	46	42	9	20	13	3	1	0	0
H24	44	39	8	19	12	2	3	0	0
H25	45	38	7	18	13	4	2	-	1
H26	46	40	8	17	15	3	2	x	x
H27	39	33	7	15	11	1	3	-	1
H28	36	30	7	13	11	x	2	x	2
H29	35	28	10	9	9	2	3	x	x
H30	34	28	13	5	10	2	x	x	1

資料:農林水産省「木材需給報告書」

(8) 木質エネルギー利用施設

年度	H27	H28	H29	H30	R1
ボイラー基数	16	16	16	16	17
発電機基数	4	4	4	5	5
木質バイオマス使用量(トン、絶乾重量)	18,906	34,545	31,021	33,858	37,009

特用林産物

(1) 特用林産物の生産量

(単位:トン、うるしのみkg)

項目	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H28	H29	H30	R1
生しいたけ	921	940	1,180	975	858	766	990	578	484	630	554	447
乾しいたけ	118	152	108	88	58	25	17	15	14	10	10	8
なめこ	134	389	564	455	330	198	174	162	144	130	140	149
えのきたけ	500	586	593	567	337	238	150	136	99	86	67	107
ひらたけ	124	376	481	211	89	12	3	0	0	1	0	1
ぶなしめじ								1,151	1,190	1,200	1,158	1,158
まつたけ	9	26	8	2	2	2	7	1	1	0	1	1
わさび	3	4	4	4	3	1	1	2	2	2	2	2
うるし	70	58	8		20			1	15	12	11	7
木炭	956	848	615	614	275	156	73	78	82	88	66	62

資料: 石川県特用林産物需給動向

(2) 特用林産物の産出額

(単位:千円)

項目	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H28	H29	H30	R1
生しいたけ	792,232	1,083,820	1,472,890	1,179,259	827,970	739,383	900,065	612,728	505,087	636,401	514,252	437,417
乾しいたけ	505,896	577,747	427,096	218,648	183,902	101,246	67,433	71,425	65,334	50,134	41,488	30,694
なめこ	120,600	259,584	342,851	281,852	162,680	89,491	69,600	70,134	70,996	69,160	80,080	82,139
まつたけ	213,591	378,340	218,123	62,499	82,939	79,297	236,022	35,581	21,904	22,836	21,631	22,227
わさび	14,262	18,307	17,041	22,000	12,968	3,612	1,885	4,076	3,443	4,734	4,864	5,255
うるし	2,520	1,985	384		960			48	720	576	528	336
竹材	107,200	36,224	8,000	6,720	2,765	5,425	5,250	5,250	1,680	1,680	1,680	1,830
木炭	123,285	101,880	73,800	98,244	42,064	24,559	11,194	12,077	13,009	13,953	10,304	9,681
その他	396,067	694,365	699,400	436,660	224,367	107,316	56,242	725,125	667,232	710,309	745,963	764,054
計	2,275,653	3,152,252	3,259,585	2,305,882	1,540,615	1,150,329	1,347,691	1,536,443	1,349,405	1,509,782	1,420,791	1,353,632

資料: 石川県特用林産物需給動向

(3) のとてまりの生産量

(単位:トン)

項目	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
のとてまり	0.19	0.33	0.62	0.73	0.82	0.58	0.78	0.37	0.28

資料: 奥能登原木しいたけ活性化協議会



3 用語解説

A

AI

「Artificial Intelligence」の略。人工知能。

C

CLT（直交集成板）

「Cross Laminated Timber」の略。一定の寸法に加工されたひき板（ラミナ）を繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料。

G

GAP

「Good Agricultural Practice（農業生産工程管理）」の略。農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組。第三者機関の審査による認証制度がある。

I

ICT

「Information and Communication Technology」の略。情報通信技術。

ILAC

いしかわ就職・定住総合サポートセンター

N

NPO

Non-Profit Organization の略。営利を目的としない民間の組織や団体。

あ行

育成経営体

林業経営の集積・集約化の受け皿となりうる林業経営体として育成を図る林業経営体として知事の登録を受けた者。

いしかわ^{さとやましんこう}里山振興ファンド

県が、県内金融機関の協力を得て平成23年5月に創設。その運用益等を活用して、里山里海の地域資源を活用した生業（なりわい）の創出、里山里海地域の振興、スロートーリズムの推進、多様な主体の参画による里山保全活動の推進など、元気な里山里海づくりを進めている。平成27年度までの名称は「いしかわ里山創成ファンド」という。

いよく^{のうりよく}と能力のある^{りんぎょうけいえいしゃ}林業経営者

森林経営管理法に定める経営管理実施権を受けられることができる林業経営体（自己又は他人の保有する森林において、事業主自身若しくは直接雇用する現場作業職員により又は他者への請負により造林、保育、素材生産等の林業生産活動を行っている経営体。）として知事の登録を受けた者。

エリートツリー（^{だいにせだいせいせいじゅ}第二世代精鋭樹）

成長や材質等の形質が良い精英樹同士の人工交配等により得られた次世代の個体の中から選抜される、成長等がより優れた精英樹。

か行

かいばつ^{かいばつ}皆伐

一定範囲の樹木を一時に全部又は大部分伐採する主伐の一種。

カスケード^{りょう}利用

木材を建材等の資材として利用した後、ボードや紙等としての再利用を経て、最終段階では燃料として利用すること。

かわかみ^{かわかみ}川上

当ビジョンでは、森林所有者や実際の森林管理方針を策定して丸太生産や造林・保育といった施業行う林業経営者を指す。

かわなか
川中

当ビジョンでは、原木市場等の丸太の流通に関わる業者や、製材、単板・合板、チップ等の加工業者、製品市場・木材問屋等の木材製品の流通や需要者への販売に関わる業者、プレカット事業者等。川下は工務店・住宅メーカー等を指す。

きょうどかんぱつ
強度間伐

通常の間伐の2倍にあたる40%～50%の本数を一度に伐採する間伐。

は
クマ剥ぎ

クマによるスギの樹皮剥ぎ。

グリーン・ツーリズム

緑豊かな農山村地域において、農林業を体験したり、その地域の文化や歴史に親しんだりする滞在型の余暇活動。

けんさんざいじゅうたく
県産材住宅ビルダー

いしかわ森林環境税を活用した県産材利用促進の趣旨に賛同し、県産材の利用促進に努める旨の宣誓を行い、県による登録を受けた建築事業者。

けんみんいしきしょうさ
県民意識調査

調査は令和2年度に石川県全体の20歳以上の県民を対象に2,000人を無作為抽出して実施。

こうせいのうりんぎょうきかい
高性能林業機械

従来のチェーンソーや集材機等に比べて、作業の効率化や労働強度の軽減等の面で優れた性能をもつ林業機械。

こうみつどろもう
高密度路網

一般車両の走行を想定した幹線となる「林道」、大型の林業用車両の走行を想定した「林業専用道」、フォワーダ等の林業機械の走行を想定した「森林作業道」を組み合わせ、森林内におおむね100m/ha以上の道路網を整備すること。

ごうほうもくざい
合法木材

森林関係の法令において合法的に伐採されたことが証明された木材。

なえ
コンテナ苗

出荷時の根切りを要さない特殊な形状の容器（マルチキャビティコンテナ）で生育した土付き苗。植栽時期の範囲が広く活着率が高い。

ごうはん
合板

丸太から薄くむいた板（単板）を、繊維（木目）の方向が直行するように交互に重ね、接着したもの。

さ行

さいぞうりん
再造林

人工林を伐採した跡地に再び苗木を植えて人工林をつくること。

さとやまりん
里山林

集落周辺に広がり、薪炭用材の伐採、落葉の採取等を通じて地域住民に継続的に利用されることにより維持・管理されてきた森林。二次林。

しゅうせいざい
集成材

板材（ラミナ）を繊維（木目）の方向が平行になるように、長さ、幅、厚さの各方向に接着した製品。柱材等の構造用集成材と階段材、床材等の造作用集成材に大別。

しゅばつ
主伐

次の世代の森林の造成を伴う森林の一部又は全部の伐採。

しんこうこんこうりん
針広混交林

針葉樹と広葉樹が混じり合った森林。

じんこうりん
人工林

苗木の植栽、種子のまき付け、挿し木等の人為的な方法により造成された森林。（←→天然林）



しんりん 森林クラウドシステム（森林GIS）

行政（県・市町）や林業事業者等が持つ森林に関する情報を、ネットワークを通して共有し管理するシステム。

しんりんけいえいかんりほう とくれいせいど 森林経営管理法の特例制度

所有者不明森林等について、市町村による広告等により経営管理権集積計画を定めることが可能となる森林経営管理法における特例措置。

しんりんせぎょう 森林施業プランナー

森林現況に即した路網計画や間伐方法等の森林施業の方針、利用間伐等の施業の収支を示した施業提案書を作成し、それを森林所有者に提示して合意形成することができる技術者。

しんりん 森林セラピスト

森林を訪れる利用者に応じて適切なプログラムを提供し、効果的なセラピー活動を指導する者。

しんりんそうごうかんりし 森林総合監理士

森林・林業に関する専門的かつ高度な知識や現場経験等を有し、市町村行政や森林施業プランナー等の支援を行う人材。

スマート林業

生産性や安全性の飛躍的な向上、需要に応じた高度な木材生産を可能とする、地理空間情報やICT（情報通信技術）等の先端技術を活用した林業。

せいぶつたようせい 生物多様性

すべての分野、特に陸上生態系、海洋および水生生態系ならびにこれが複合した生態系における生物の変異性をいうものであり、種内の多様性（遺伝的多様性）、種間の多様性（種多様性）、および生態系の多様性（生態系多様性）を含むもの。

ぜんさんぎょう へいきんしよとく 全産業の平均所得

全産業の平均所得は平成30年度分毎月勤労統計（石川県）の全産業5人以上の平均所得を算出。

そうせいじゆ 早生樹

木材として利用できるまでの成長が早い樹種の総称。

そうりん とど でせいど 造林の届け出制度

森林法10条の8で「森林所有者等は、地域森林計画の対象となっている民有林（中略）の立木を伐採するには、（中略）伐採及び伐採後の造林の届出書を提出しなければならない。」とされており、その提出時期は、森林法施行規則第9条で「伐採を開始する日前90日から30日までの間に提出しなければならない。」とされている。

そざい まるた せいざん 素材（丸太）生産

立木を伐採し、枝葉や梢端部分を取り除き、丸太にする工程。

た行

たくばつ 択伐

木材として利用できるようになった樹木を部分的に伐採する主伐の一種。

ためんてききのう 多面的機能

森林が持つ国民生活の安定向上と国民経済の健全な発展に寄与する様々な働きを指し、「水源のかん養」、「土砂災害防止／土壌保全」、「地球環境保全」、「生物多様性保全」、「快適環境形成」、「保健・レクリエーション」、「文化」のほか、木材生産を含む「物質生産」がある。

ちい 地位

林地の土壌や環境条件等をもとに土地の材積生産力を階級区分で示したもの。

ていあんがたしゅうやくかせぎょう 提案型集約化施業

林業事業体から森林所有者に対して、施業の方針や事業を実施した場合の収支を明らかにした施業提案書を提示し、施業の実施を働きかける手法。

ていこうせい 抵抗性クロマツ

松くい虫被害の原因となるマツノザイセンチュウに対して抵抗性があるクロマツ苗。これまでは出荷前の苗木にマツノザイセンチュウの接種が必要であったが、マツノザイセンチュウの接種が不要な採種園が緑化センターに造成されたことから、令和4年度から接種不要の苗木が出荷される見込み。

ていそうけんちくぶつ 低層建築物

県が整備する公共建築物のうち、木材利用方針により原則木造を規定している低層の建築物（3階以下かつ3,000㎡以下であり、建築基準法その他の法令等に基づく基準において耐火建築物とすること又は主要構造部を耐火構造とすることが求められていないもの）。

てんねんこうしん 天然更新

自然に落下した種子等から発芽した実生や切り株からの萌芽を育てて次世代の森林に仕立てる方法。

とくていぼじゅ 特定母樹

第二世代精英樹のうち、成長や雄花着生性等に関する基準を満たすもので、農林水産大臣が指定したもの。

とくようりんさんぶつ 特用林産物

林野から産出される木材以外の産物。きのこ等。

ドローン

遠隔操作や自動制御によって飛行できる無人航空機の総称。

な行

のうそん せいど 農村ボランティア制度

人手が不足してボランティアの受け入れを希望する集落と、農村でボランティア活動を希望する都市住民や企業等を仲介する制度。

ねんかんしよとく へいきん 年間所得の平均（林業従事者）

林業従事者の平均所得は、（公財）石川県林業労働対策基金による令和元年度の就労条件改善整備事業対象者のうち年間労働日数が210日以上かつ65歳以下の林業従事者の平均年収を算出。

は行

ハーベスタ

伐採、枝払い、玉切り（材を一定の長さに切りそろえること）の各作業と玉切りした材の集積作業を一貫して行う自走式機械。（harvest: 収穫する）

ばっき 伐期

主伐が予定されている時期。

バイオマスボイラー

化石資源を除く再生可能な生物由来の有機性資源を燃料とし、その燃焼で得た熱を水蒸気や温水に換える機器。

はり けた 梁・桁

梁は建物の平面の短辺の空間に渡される横架材。桁は長辺方向の横架材。

フォワード

玉切りした材を、グラップル（ものを掴む装置）を用いて荷台に積載し、運ぶ集材専用の自走式機械。

フォレストサポーター

森林ボランティア活動を実践する上で必要な知識や技術を習得する県の研修を修了した者。



ふざいそんか 不在村化

所有する森林とは別の市町村に居住する個人が増えること。

ふねんもくざい 不燃木材

不燃材料（建築物内部の火災拡大や煙の発生を抑制する性能（20分）を有する材料）の大臣認定を受けている薬剤で処理して不燃性能を持たせた木材。

プレカット

従来は墨付けに従って手工具で行っていた木造住宅の柱や梁の継ぎ手、仕口の加工を機械で行う技術。

ほあんりん 保安林

水源のかん養等特定の公共目的を達成するため、農林水産大臣又は県知事によって指定される森林。伐採や土地の形質の変更等が規制される。

ほうちちくりん 放置竹林

周辺森林に侵入・繁茂している管理されなくなった竹林で、森林の持つ公益的機能の発揮に支障を来すおそれがあるもの。

ま行

マーケットイン

企業が商品開発や生産を行う上で、買い手のニーズを優先し、顧客の声や視点を重視して商品の企画・開発を行い、提供していくこと。

もくしつ 木質バイオマス

動植物に由来する有機物であってエネルギー源として利用することができるもの（原油、石油ガス、可燃性天然ガス及び石炭並びにこれらから製造される製品を除く。）のうち木竹に由来するものをいう。

もりぎょう 森林業

森林、自然景観、農林水産物、伝統文化等の地域資源を有効に活用した山村ならではの新たな産業。

ら行

りんか 林家

農林業センサスにおいて、保有山林面積が1ha以上の世帯をいう。

りんぎょうじぎょうたい 林業事業体

森林において、事業主自身若しくは直接雇用している現場作業職員により又は他社への請負により造林、保育、素材生産等の林業生産活動を行っている事業体。当ビジョンでは、森林組合系統、森林整備協同組合、旧素材生産協同組合、その他事業体を指す。

りんぎょうじゅうじしゃ 林業従事者

当ビジョンでは、林業の現場作業に従事する者とする。

りんざんくみあいちょうせいど 林産組合長制度

かが森林組合で採用している組合管内の町内会レベルを単位とした組合員組織で、組合員の要望のとりまとめや組合事業の普及などを行う制度。

りんちだいちょうせいど 林地台帳制度

市町村が統一的な基準に基づき、森林の土地の所有者や林地の境界に関する情報を記載した「林地台帳」を作成し、その内容の一部を公表する制度。森林の位置や地番の確認を行いやすくして保有森林への関心を高めるほか、森林所有者による林地台帳情報の修正申出を喚起するため、林地台帳の一部及び台帳に付帯する地図を公表（公表することにより個人の権利利益を害するものを除く。）。また、地域の森林整備の担い手による集約化の取組を促進するため、同一の都道府県内で森林経営計画の認定を受けて

いる林業経営体等に対しては、情報提供が可能。

れいきゅう
齢級

森林の年齢を5年の幅でくくったもの。人工林は、苗木を植栽した年を1年生とし、1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級と数える。

しびょう
ろう脂病

樹幹より多量の樹脂が流れ出るアテやヒノキなどヒノキ科特有の病気。

るもうさくせつ
路網作設オペレーター

丈夫で簡易な森林作業道等を地形、地質等の条件に応じて作設する技術者。

